

2020年度 第1回診断評価等基準委員会 議事録

開催日時：令和2年7月10日(金) 18:00-19:00

開催場所：Web 開催

出席者： 筑田博隆・紺野慎一・竹内大作・佐藤公昭・金森昌彦・寒竹司・加藤壯

本郷道生・川上守・関口美穂

欠席者：金山雅弘・福井充・和田英路・橋爪洋・細野昇・土井田稔

報告事項

1 . JOACMEQ の使用許可（中国語版作成）依頼

日本整形外科学会（日整会）に Longhua Hospital Affiliated to Shanghai University of TCM の Min Yao 先生から JOACMEQ の使用許可の依頼があった。日整会事務局から本学会（当委員会）でも承諾可能かを確認後に、日本整形外科学会から回答する件の連絡があった(R2年6月18日)。商業目的ではないことから、承諾について委員長から回答する旨報告された。

2 . JOABPEQ についての問い合わせ(R2年7月10日)

日立建機株式会社の長尾様より本学会事務局に対して、社内の改善活動の一環で、

JOABPEQ を使用したいが、5 分類の意味、許容範囲の数値の有無等の詳細について情報提供希望の問い合わせがあった。関連論文の情報を提供することが報告された。

議題

1. プロジェクト研究進行状況について

「腰椎変性側弯症の健康関連 QOL 低下に及ぼす X 線学的 (脊柱変形) パラメータを検討する多施設横断研究」(担当：竹内委員)

論文が完成され当委員会の委員が査読中。コメントがある場合には、それぞれ竹内委員に送付する。(継続審議)

「腰椎変性すべり症に対する手術治療法の有用性に対する JOABPEQ を用いた多施設前向き研究」(担当：寒竹委員)

論文が完成され当委員会の委員が査読中。コメントがある場合には、それぞれ寒竹委員に送付する。(継続審議)

LSS 疾患特異的アウトカム評価のための症状スケールと QOL スケール検証 (担当：関口委員)

集積状況は 140 例。新委員へプロトコルを送付する。各施設での倫理申請 (新規または変更) を依頼。新委員や所属の変更について後日委員に確認。(継続審議)

Lumbar Stiffness Disability Index (LSDI) の妥当性の検証 (担当：橋爪委員)

反応性の検証が必要であることからの提案事項であった。次回の委員会で橋爪委員が

らご説明を頂く。

2 . JOABPEQ、JOACMEQ 偏差得点の開発の進捗状況について

次回の委員会で福井委員からご説明を頂く。

3 . プロジェクト研究 (JOA も含めて) のデータを蓄積して再利用する件について

次回の委員会で橋爪委員からご説明を頂く。

4 . その他

プロジェクトの提案方法は、委員会の際に委員からご提案いただく。

次回の開催は、開催必要時に調整する。